

◇家に帰ると友だちと遊ばない児童

【Q】 小学校1年生の女子の保護者です。2学期も毎日元気に登校し、ほっとしているところです。学校では、友達と遊んでいるようですが、放課後は毎日、家に居て一人で過ごしています。本人は絵を描いたり、本を読んだり、楽しそうにしていますが、学校で何かあるのではないかと、友達がいないのではないかと心配になります。親としてどのように接したらよいでしょうか。

【A】 小学校入学はお子さんにとって大きな生活の変化があり、学校生活に適應できるかご心配も多かったと思います。2学期も元気に登校できているのは、ご家庭での温かい見守りがあったからでしょう。

小学校低学年は、まだ行動範囲が狭く、家で過ごす時間が多いのは自然なことです。また、新しい人間関係を築いていくことは、大人でも時間がかかります。学校で必要以上に気を遣ったり、頑張ったりして、精神的に疲れている場合もあります。無理に遊ばせようとせず、お子さんの気持ちを大事にしながら、少しずつコミュニケーションの幅を広げていきましょう。また、お子さんが抱えている問題はないか、注意深く様子を見て把握することは大切です。そこで、次のような関わり方をしてみてください。

①家族と一緒に過ごす時間を大切にしましょう。

家庭は、子どもが心と体を休める場所なので、家族の中で安心して過ごせる時間をつくっていきましょう。お子さんとの会話や遊び、家の仕事を手伝ってもらうなどのふれあいを通して、コミュニケーションをさらに深めてみてください。お子さんの興味を持っていることや長所など、新しい発見ができるかもしれません。さらには、学校や地域などのいろいろな行事に進んで参加するなど、さまざまな体験をさせながら、人間関係を広げていく機会をつくってみるのもよいでしょう。

②学校との連携を密にしましょう。

家庭では見えないお子さんの様子を知るには、担任の先生との連絡を密にすることです。学校と家庭で情報共有することで、よりの確にお子さんの状態を把握できます。また、お母さんの心配されていることを相談し、協力をお願いしていきましょう。もし、お子さんの様子でさらに気になることがありましたら、川越市立教育センター分室（リベラー）等にご相談ください。